

14/8
5/25

戦争法廃止へ

主権者は私たち国民

東京 平和委員会の訴えに反響

日本平和委員会は17日、東京・有楽町駅前で、総がかり行動実行委員会が提起した戦争法廃止の2000万人統一署名に取り組みました。「戦争法は廃止に自衛隊を戦場に送るな」と書かれた横断幕を掲げて呼びかけました。修学旅行に来ていた高校生らが次々署名に応じました。32人分の署名が集まりました。

広げよう
2000万署名



戦争法廃止の2000万人署名を呼びかける参加者=17日、東京・有楽町駅前

行動には、14人が参加。静岡からかけつけた畑田重夫代表理事(国際政治学者)は92歳になります。大学1年のとき「ペンを捨て、銃を持って」と言われて学徒動員された経験を語り、「一人の命ほど重いものはない。平和委員会は戦争反対、憲法9条を守る立場で一貫しています。主権者は私たち国民です。参院選を見据え2000万人署名にご協力ください」と訴えました。

高田公子代表理事は「安倍政権はさまざまな国民の声を踏みにじりました。戦争法を廃止させよう」。弁護士岸松江代表理事は「テロも無差別攻撃も憎しみの連鎖を生むだけ。9条のたたかわないという勇気が大切で

す」とマイクで訴えました。

署名した辻清子さん(40)「東京都板橋区、パート」は「暴力に暴力で対してもテロはなくなるどころか民間人が犠牲になっていきます。安倍さんは景気景気と言っけど、お金が軍事費に回っている。私は景気がいいことを知りません。自民党政権をかえなさいといけません」と述べました。